

様式第5-1（日本工業規格A列4番）

平成 年 月 日

国土交通大臣 殿

住 所 千葉県柏市柏5丁目10番1号
氏名又は名称 柏市地域公共交通活性化協議会 印

平成28年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金
（地域公共交通調査事業（計画策定事業））交付申請書

平成28年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金（地域公共交通調査事業（計画策定事業））
金4,200,000円を交付されるよう、補助金等に係る予算の執行の適正化に関する法律（昭和30
年法律第179号）第5条の規定に基づき、別紙関係書類を添えて申請します。

平成28年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金
 (地域公共交通調査事業(計画策定事業)) 交付申請事業

補助対象事業者名 柏市地域公共交通活性化協議会

(単位:円)

補助対象事業の 名称及び内容	補助対象事業の着手 及び完了予定日	補助対象経費	補助金額
柏市地域公共交通網 形成計画策定基礎調 査業務 ・交通現況等の把握 ・現状の移動実態と ニーズの把握 (市民ニーズ調査) ・課題整理 ・協議会開催	着手予定日 交付決定日以降 完了予定日 平成29年3月31日	4,200,000	4,200,000

(添付書類)

- (1) 補助対象経費に係る見積書
- (2) その他補助金の交付に関して参考となる書類

地域公共交通調査事業（計画策定事業）の実施に関する計画

1. 当該地域の公共交通の概況・問題点

本市は千葉県北西部に位置し、総面積は約115平方キロメートル、市街化区域及び市街化調整区域の構成割合はおよそ半々であるが、旧沼南町域では大部分（約84%）が市街化調整区域で構成されている。現在の人口は約40.8万人、高齢化率は約24.2%（H27.10住民基本台帳人口）だが、近年上昇傾向（およそ5年で4.4%アップ）にあり、かつ50%近くに達する地域が存在する等、地域格差が広がりつつある。

道路ネットワーク面では国道6号及び16号並びに常磐自動車道といった広域幹線道路が通る交通の要衝になっており、両国道における慢性的な交通渋滞の影響は市域の生活道路にも及んでいる状況にある。また、北部及び南部地域においては土地区画整理事業による街づくりが進展しているところであり、今後、人の移動や物流が大きく変貌することが予想される。

次に公共交通だが、市内には鉄道3路線が乗入れており、この内JR常磐線の各駅から路線バス網が放射状に構築されている状況にある。

こうしたなか、本市では、市縁辺部を中心とした交通問題を解消するため、南部地域において市主体による乗合ジャンボタクシー及びデマンドタクシーを展開しており、年間約3千万円（H27予算額）の経費を要している。一方で、市街化区域内では民間路線バスが市民の移動手段の中心を担っているところであるが、近年、少子高齢化の進展による通勤通学需要の減少等を背景にバス路線の減便や系統廃止が発生している状況にある。

このように、本市ではこれまで、縁辺部の交通確保を中心に対策を進めてきたところであるが、市民のライフスタイルや市街地における交通を取り巻く環境が変化し、これまでのバス利用想定範囲（バス停から300メートル圏内）では今後さらなる進展が予想される高齢社会への対応としては不十分であり、今後、全市的に移動しやすさを向上するためには、まちづくりと連携したバス交通をはじめとした交通網の見直しが課題となっている。

2. 目指す交通計画と策定調査の必要性

本市では、これまで、平成18年度に策定した柏市バス交通網整備計画に基づき交通の確保に努めてきたところであるが、策定から10年を迎えるなかで、前記のように交通を取り巻く環境に変化が生じ、市民の移動ニーズに十分応えられていない状況にあるとともに、コンパクトな街づくりに向けた立地適正化計画の策定業務に今年度から着手（～平成29年度策定業務実施。平成30年度公表予定）したところであることから、街づくりの根幹をなす交通計画の策定を併せて実施する必要がある。

また、策定に当たっては、市民ニーズを把握したうえでこれを計画に反映させることとなるが、本市における全市的な交通に関する実態調査は、柏市バス交通網整備計画策定前の平成17年度を最後に実施しておらず、この間、市町合併や街づくりの進展、高齢者の増加などにより交通環境の変化は著しいものがあり、新たなバス路線計画の策定を進める上で最新の市民ニーズを把握しなければならない。さらに、既存の乗合タクシー及びデマンド型交通の採算性及び利便性向上を図るための一体的な再編、及び交通空白不便地域における最適な交通モード（コミュニティバス、乗合タクシー、デマンド型交通）の検討にあたっては、持続可能な交通となるよう地域特性やニーズを十分に確認する必要がある。

様式第5-1 別紙

3. 事業の実施内容	
実施項目	実施内容
1 協議会開催	協議会実施(2回)
2 市内交通現況等の把握	<ul style="list-style-type: none"> ・現状把握(計画策定の背景, 都市概況の把握, まちづくりの方向整理) 市の上位計画及び関係法令等を踏まえ, 本業務に必要となる基礎データを取得するとともに, これを整理する。 ・公共交通の実態確認 鉄道, 路線バス, デマンド交通, 民間送迎バス等の実態を各種データ及び事業者へのヒアリングにより実施する。
3 現状の移動実態とニーズの把握(市民ニーズ調査)	<ul style="list-style-type: none"> ・市民アンケートの実施 市民3千人に対して交通行動(日常生活における移動手段や目的等)や公共交通の乗継及び待合環境に関する意向, サービス水準に対して適正(支払っても良い, 利用したいと思う)と考える運賃等を考えるアンケート調査を実施する。 ・利用者アンケートの実施 路線バス等利用者1千人を対象に上記と同様に調査を実施する。
4 課題整理	現状及び市民ニーズ等を踏まえ, 現時点及び将来新たに発生することが予想される交通課題を整理する。

4. スケジュール				
実施項目	4月	9月	12月	3月
協議会開催		→		→
市内交通現況等の把握	→			
現状の移動実態とニーズの把握(市民ニーズ調査)		→		
課題整理			→	

様式第5-1 別紙

5. 予算計画				
実施項目	総事業費 (見込み)	補助対象経費 (見込み)	国費 (見込み)	地域の負担 (見込み)
協議会開催	590 千円	347 千円	347 千円	243 千円
市内交通現況等の把握 (計画策定の背景) (都市概況の把握) (まちづくりの方向整理)	1,711 千円	1,006 千円	1,006 千円	705 千円
現状の移動実態とニーズの把握 (市民ニーズ調査)	3,726 千円	2,190 千円	2,190 千円	1,536 千円
課題整理	1,118 千円	657 千円	657 千円	461 千円
合計	7,145 千円	4,200 千円	4,200 千円	2,945 千円